

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2017年4月26日 No. 203

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：篠原和幸

編集：情宣部

「JR発足30年あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動!!」を実施します!

今年4月1日、国鉄改革を経てJR各社が発足して30年が経過しました。JR東日本では、国鉄改革を経験した先輩方の大量退職時代を向え、国鉄時代を経験していない社員が全社員の過半数を占めるとともに、様々なシステム化による効率化等で、私たちが働く労働環境も大きく変化しました。30年という節目の時期を迎えた今、私たちが働いている労働条件・労働環境を見つめなおし、各職場・職種において、総点検行動を実施することが本部より提起されました。

この間、賃金水準・各種手当・福利厚生などにおいて、必要性・特殊性が無くなった等の理由で、改悪・廃止されたものもあります。また、職場建物や社宅の老朽化、設備改善が全くされない箇所もあります。一方で、近代化デザインを取り入れた駅舎の建て替えとインターネット・ICカード等による出改札のシステム化が進み、車両分野でも新形式の車両を次々と開発し投入した結果、会社が保有する全車両のうち、国鉄時代に製造された車両数の割合が約10%を下回る状況となっています。

このような状況のなか、現在の労働条件・労働環境が当たり前になっていないでしょうか。今一度、様々な角度から検証し、仲間と議論をしながら総点検行動に取り組みしましょう。

2017年4月
JR東日本労働組合 中央本部

JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の 総点検行動!!

●国鉄改革を経て誕生したJR東日本が30周年を迎えました。30年を経過した現在、JR東日本グループとして大きく成長を遂げてきました。駅舎や新製車両は近代的デザインなものも多く、出札や改札はシステム化されました。切符の購入はインターネットでの注文となりICカードが切符代わりです。切符を切るハサミを知らない国鉄改革を経験していない社員は過半数を超えたとともに労働環境も変化してきました。

●その一方で、私たちの労働条件や労働環境は、どうでしょうか。この間の私たちの取り組みによって、賃金水準の底上げをはじめさまざまな改善をしてきました。しかし未だ改善されていないものがあります。また、各種手当や福利厚生などを含めて改善されたものもあります。さまざまな鉄道施設が近代化、システム化をされているその影で社員が利用する施設や設備などは30年前から時間が止まったままであるところも多く存在しています。

●私たちは労働組合の立場からJR発足30周年を迎えたことを期に、あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動を取り組めます。会社は一流、社員の労働条件は三流であるのが現実です。JR労働者の団結をめざし、労組の枠を超え、現場の視点から改善に向けて取り組みます。みなさんから寄せられた要求については、その実現に向けて具体的に取り組んでいきます。

(要求の募集期間) 2017年5月1日～6月30日まで

地本名	職場名	氏名	備考
《私の要求 (一人1要求)》			
《要求根拠、理由》			

(裏面もお使い下さい)

記入用紙を配布します。
みなさんのご協力よろしくお願ひします!

